

平成 21 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473300349	事業の開始年月日	平成13年3月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	社会福祉法人 ふじ寿か会		
事業所名	高齢者グループホーム ふじの里		
所在地	( 〒226-0021 ) 横浜市緑区北八朔町1857番地		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	平成22年1月16日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月6日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473300349&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473300349&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の簡素化に努め、常に入居者の笑顔を大切にコミュニケーションや見守りの時間をできるだけ多くしている。</li> <li>・外出行事等を多くし、入居者に楽しみを持っていただき、いつもと違った「顔」を観れるように努めている。</li> <li>・入居者と「何でも一緒に」を基本姿勢として、日々の業務の中で職員が入居者に「ありがとう」とたくさん言える関係作りに努めている。また、何でも一緒に行う事によって、入居者の細かい状態や思いを再確認し、常に入居者本位に考えるサービスの実現に力を入れている。</li> </ul>
---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-4 クエヌファースト 3階		
訪問調査日	平成22年2月18日	評価機関 評価決定日	平成22年4月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所はJR横浜線、中山駅からバスと徒歩で20分の閑静な地にあります。定員9名の1ユニットの事業所です。事業所の理念に「地域社会における家庭的な生活を支援し、利用者が地域や家族との関わりを保てるように支援すること」を掲げています。一人ひとりの生活づくりを生活の基本に据えて、買い物、食事作り、掃除、散歩など利用者同士が助け合い、役割意識を持って生活しています。仲間と共に生活することの安心感がもてるように、職員はなんでも利用者と一緒にいき、一人ひとりの利用者の生活を見守っています。</p> <p>家族とのコミュニケーションが活発です。大変訪問しやすいホームであるという家族の声も多くあります。家族がホームの雰囲気に親近感をもっていることがうかがえます。家族との面談の内容を特記ノートに記録しています。特記ノートに利用者・家族の思いや要望を詳細に記述し、ケース会議で取り上げ個別支援計画の作成に活かしています。3か月ごとに家族会を開催しています。家族会は学識経験者にアドバイザーを依頼し、介護保険制度や地域の他の施設情報など、家族の疑問や要望に速やかに答える仕組みを整えています。</p> <p>日常的な利用者の外出に力をいれています。散歩日誌を作成し、誰が誰と買い物に行き、どんな話をして、上手にお金が使えたかなどを記録しています。利用者の希望に応じ職員が1:1で付き添い、そば、寿司、ラーメンと毎週誰かが外食を楽しんでいます。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム ふじの里
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・基本理念を事務所内へ掲示し、理念は日々の申し送りやケース会議等で話題にして職員間で共有化を図り、その実践に努めている。	「高齢者の正しい理解と、地域社会における家庭的環境での共同生活の支援」を理念に謳い、理念を実践するための7項目の運営方針を掲げています。ケース会議で利用者の残存能力を活かす支援を職員間で話し合い、理念に対する職員の意識を共有しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の自治会に加入し、日常的に挨拶を交わしている。また地域の行事等へ参加し、交流を図っている。	愛のフェスティバルや体育祭等自治会の行事に積極的に参加しています。また、電話連絡表を作成し、地域の高齢者の状況把握の自治会活動を支援をしています。コーラス、ハーモニカ演奏、フラダンスなどの地域のボランティアを積極的に受け入れ、住民との交流を図っています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域の活動等の参加や日々の挨拶等により、認知症の人の理解や支援の方法を、地域の方々が職員に、聞きやすい環境作りに努めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・概ね2ヶ月に1回開催し、御家族からの要望や地域の方の意見を活かし、サービスの向上に努めている。	利用者・家族、自治会代表、緑区役所職員、地域包括支援センター職員等の参加のもとに、定期的に運営推進会議を開催しています。平成21年9月の会議では、事業所の食事会や愛のフェスティバル見学等の活動状況を報告し、徘徊高齢者SOSネットワーク登録等について話し合いました。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・必要に応じて、役所等へ連絡や訪問、また研修会に参加し、日頃から協力関係を築ける様に取り組んでいる。	横浜市防災センター主催の研修に積極的に参加しています。平成22年1月に土砂災害研修、平成21年11月に高齢者施設防災安全研修に出席したことが研修報告に記録されています。また、生活保護利用者については区職員と話し合いの場を持ち、連携して利用者支援に当たっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>・出来る限り、研修会等へ参加し、またケース会議にて話し合い望ましいケアの実践に向け、日々取り組んでいる。基本的に施錠はせず、本人の安全で安心を最優先に考えている。</p>	<p>玄関、ユニットの出入り口の施錠はしていません。利用者の動きを職員が見守り、外出の要望に対応しています。平成21年3月のケース会議で身体拘束の禁止について話し合い、職員に周知したことが記録されています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・出来る限り、研修会等へ参加し、またケース会議にて話し合い望ましいケアの実践に向け、日々取り組んでいる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>・出来るだけ法人内の研修、県、市の研修にも参加し学び、必要な方には活用出来る様に支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・入居前にしっかりと説明して理解、納得を図り安心して入居して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・職員は要望を受け入れる姿勢を持ち、ホーム内においては速やかに対応出来るようにしている。また、家族会にてアドバイザーの方に参加していただき、御家族の要望や意見を外部の方へ提案できる機会を設けている。</p>	<p>3か月ごとに家族会を開催し、家族の意見・要望を確認しています。家族会では利用者への医療行為に関する相談等を受けたり、学識経験者の参加を依頼し介護保険の制度や他の高齢者施設の情報の提示等、利用者・家族へのアドバイスをしたりしています。</p>	<p>苦情対応マニュアルの整備が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・日々の申し送りや定期的なケース会議にて職員、管理者共に意見や提案を話し合い反映出来る様に努めている。	ケース会議で話し合い職員の意見を積極的に採用しています。利用者が安全に入浴できるように浴室用の椅子を考案したり、スプーン等食器類の見直しを行ったりしています。帳票類も記述しやすいように、職員の提案を積極的に取り入れ見直しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・各職員が、業務へ集中して取り組める様に努めている。また、モチベーションや向上心を維持継続出来る様に、職場環境や条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・出来る限り、法人内の研修や市、県の研修に参加し、ケース会議にて報告をして情報の共有化を図っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・緑区、横浜市、神奈川県、横浜高齢者グループホーム連絡会、神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会等の活動や研修会等に参加し、サービスの質の向上に努めている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・ホームの入居を希望される方には出来るだけホームを見学していただくようにしている。この機会に不安や要望等を聞けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ホームの入居を希望される方には出来るだけホームを見学していただくようになっている。この機会に不安や要望等を聞けるように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ホームの入居を希望される方には出来るだけホームを見学していただくようになっている。この機会に不安や要望等を聞けるように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・基本的に「何でも一緒」というのがホームの理念なので一緒に行う事で、職員側から入居者へ「ありがとう」と言える関係作りに努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・定期的に家族と一緒に行事を行ったり、面会時に写真や個別の記録を見て頂き、本人を支えていく関係作りに努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人の「声」を大切に希望、要望を聴き、馴染みの人や場所との関係が維持出来る様に努めている。	利用者の馴染みの友達が訪問しやすいように、ホームの雰囲気づくりに努めています。利用者の友達の4～5名がよく訪問してくれます。2週間に1度くらい訪問してくれる方もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・日々の生活の中(食事時、レクリエーション、お手伝い)で関わり合い、お互いが支え合える関係作りに努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・サービス利用の終了をせざるおえない場合も、最大限に適切な誠意ある対応を心掛けている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・入居当初のアセスメントや入居後の日々の会話等から、本人の意向を把握して本人本位に考え対応出来る様に心掛けている。	一人ひとりの特記ノートがあり、利用者の日々の行動や表情、つぶやきなどを丹念に記録するとともに、一人の利用者に一人以上の職員が担当としてつき、本人が何を望んでいるか、何に困っているかを把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居前に本人、御家族にご協力して頂いた、アセスメントにより、生活歴、環境の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・日勤日誌、夜勤日誌、特記ノート、受診ノート等により把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・家族会や面会時に個々にケアプランの話し合いをし、その結果を、ケースカンファレンスにて話し合いをし、反映している。 期間(3ヶ月)に応じて変更、見直しを実施している。	3か月に1回の評価、見直しに際しては、アセスメントシート、特記ノート、24時間アセスメント記録などを用い、ケース会議で複数の職員で話し合い、計画を作成しています。家族には家族会などでケアプランについて説明し、意見を聞き、計画に反映しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の生活の様子に関しては日勤、夜勤日誌にて、気づきや特別な変化のある時は特記ノートに記入し、情報を共有し反映するように努めている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・個人のお買い物や、外食や散歩など本人や家族の希望に沿えるように努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域、自治会の行事等に参加出来る様に支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人、家族の要望や希望等を聞き、受診や往診等で細やかな対応をしていただけに心掛けている。	緊急時には原則として協力医療機関を用いることになっていますが、本人や家族の要望があれば、なじみのかかりつけ医の受診を継続することも出来ます。基本的には家族同行の受診ですが、不可能なときは職員が代行するなど柔軟に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・本人、家族の要望や希望等を聞き、受診や往診等で細やかな対応をしていたに心掛けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入退院時、御家族と一緒に、医師や病院関係者に本人の情報を聴き退院後の生活を検討している。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・入居時に今後起りえる事等を説明をして、必要な関係者等と支援できる体制を心掛けている。</p>	<p>入居時に重度化した場合の事業所がとることができる対応について説明し、同意書をとっています。また、医療行為が必要になり退所がやむをえなくなったときに向けての支援も行っています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・ケース会議等で緊急対応マニュアルを確認している。職員が応急手当の講習を受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・定期的に防災訓練を行ない、緑区の消防署の方が訓練に立ち会って下さっている。また、自治会の消防訓練や研修等を受けている。</p>	<p>年に2回、緑消防署立会いで防災訓練を実施しています。訓練には自治会長や地域の消防団も参加しており、地域との防災連絡体制が確立しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・入居者を年長者として敬い、本人の尊厳を大切にした対応を心掛けている。	個人情報保護基本方針を策定し、事務室に掲示しています。個人ファイルは鍵のかかる書庫に保管しています。職員はトイレや浴室での声かけに留意し、利用者のプライドを損なうことが無いように配慮しています。嚥下障害の利用者にも本人が自信を無くさないように優しく言葉をかけています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・「答え」は本人が持っていることを考えて支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・出来る限り、希望にそえるように支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・身だしなみは出来る方はして頂き、出来ない方は、声かけにより一緒に行なうようにしている。 理容に関しては、本人の希望や2ヶ月に1回は来て頂いている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・買い物、調理、盛り付けを行っている。 テーブル拭き、食器洗い等を一緒に行えるように努めている。	利用者と一緒に買い物に行き、季節の野菜や利用者の好みの食材を買ってきます。配膳や食器洗い等利用者にも役割があり、職員と利用者が協力して食事が楽しくなるようにしています。また、食事会やお茶会を毎週のように実施し、外食を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事摂取、水分摂取の記録をつけ支援している。</p> <p>・必要に応じて栄養士の指導を受けている。</p>	/	
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・出来る限り、口腔ケアをしている。</p> <p>・必要ならば歯科往診を受け指導してもらっている。</p>	/	
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・パットやオムツは出来るだけ最後の段階として考え、排泄の自立に向けた支援に努めている。</p>	<p>利用者の排泄チェック表を作成し、利用者ごとの排泄パターンをチェックし、利用者をトイレに誘導しています。オムツはできるだけ使用しないようにし、利用者が一人でできるように自立介助を心掛けています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・散歩等で運動出来る様に心がけ、また水分摂取や乳製品を取る事によって、予防に努めている。</p>	/	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・決まった時間帯ではあるが、本人の希望に合わせて、ほぼ毎日か2日に1度は入浴している。</p>	<p>毎日14時半から18時までを入浴タイムとしています。風呂好きの利用者が多く毎日入浴する方もいます。入浴時間は職員が1:1で付き添い、利用者との大切なコミュニケーションの時間となっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日々の生活の中で入居者の様子をみて支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の説明書は個別にファイリングされたものによって把握に努めている。また、受診、往診時の記録ファイルにて確認ができる。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・外出、レクリエーション、買い物、散歩、お茶会、洗濯物干し、たたみ等、1人1人に合ったことを支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・買い物、散歩、外出行事(個別外出)、地域の行事等の参加を支援している。	利用者は散歩や買い物によく出かけます。食事会やお茶会を毎週のように実施し利用者は外食を楽しんでいます。また、地域の敬老会や体育祭、幼稚園での盆踊り大会など地域の行事にも積極的に参加しています。活発な地域交流が利用者の外出の機会を多くしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・可能な限り、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人、御家族の希望により対応している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居者が安心して居心地良く過ごせる様に音や室温等に配慮し、花や行事の写真、入居者の作品等を飾るように工夫している。	リビングは明るく、天井が高く開放感があります。リビングに接し6畳の和室があり、利用者は思い思いに寛ぐことができます。利用者一人ひとりの行事のアルバムがリビングに置いてあり、家族がそれを見て楽しんでいます。広いウッドデッキがあり、利用者が外に出て季節感を楽しんでいます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・1人1人、本人に合わせた対応を心掛け、居心地の良い場所で過ごして頂けるように対応をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・馴染みのある家具、持ち物を持ってきていただき、本人に合ったレイアウトにしている。	居室は利用者の馴染みの家具やテレビ、応接台などいろいろな置物が置かれ個性的です。居室は全て畳敷きで、利用者の状態や好みに応じてベッドを置いたり、布団を敷いたりしています。利用者の身体状況に配慮し、転倒しないように家具の配置をきめています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・1人1人、本人に合わせた対応を心掛け、自立した生活が送れる様に努めている。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映 ・現在、マニュアルに関しては、統一した物を使用している為、今後、苦情対応マニュアル等様々なマニュアルの作成、整備が必要。	・どの様な状況でも全職員が見やすく、使いやすいマニュアルの作成、整備に取り組む。	・マニュアルの見直し、作成、整備。 ・会議等での職員への周知、伝達。	6～12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。